

小樽商工会議所

議員改選

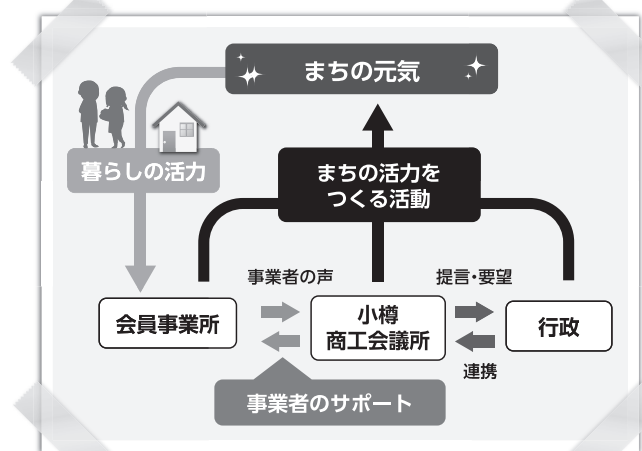
令和4年度は、会員の代表を決める
「小樽商工会議所 議員改選」を行います



商工会議所は、地域総合経済団体として、事業者のサポートやまちの活力をつくる活動をしています。

これら商工会議所の事業は、会員皆様に支えられ成り立っており、その運営は、会員の代表として選出された議員と呼ばれる80人が中心となっています。

今年10月31日に現議員の任期満了を迎えることから、新たに会員の代表を選出するための議員改選の仕組みとスケジュールについてご案内します。



小樽商工会議所は、小樽で生活する人々の暮らしとまちを支える地域産業の発展を目指して活動しています。

■商工会議所「議員」とは？

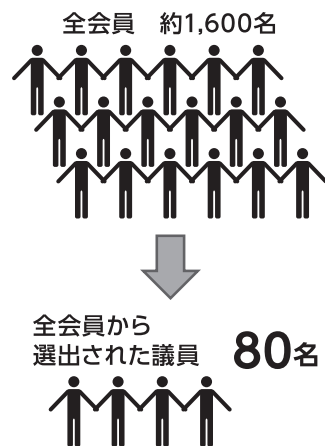
会員の代表として、事業計画や収支予算・決算など、商工会議所運営に重要な事項の審議、決議に加わります。

また、常設の委員会（8委員会）において、まちの活力のための諸問題について研究し、事業を推進します。

■議員の選出方法

小樽商工会議所の議員定数は80名、任期は3年です。

地域の商工業者の代表として、幅広い意見を反映させるため、選出方法により「1号議員」「2号議員」「3号議員」に分けられています。選出方法は異なりますが、議員の資格に違いはなく、また、全会員にその資格があります。



1号議員 41名
会員の選挙で選出します。

2号議員 27名
会員の業種別の部会から選出します。

3号議員 12名
会頭が常議員会の同意を得て選出します。

会員は誰でも議員に立候補することができ、会員及び会員以外の特定商工業者の投票によって選出されます。「会員全体の代表」と言えます。

会員の業種別に分類した5つの「部会」から、各々の割当数で選出されます。各部会における割当数は、部会毎の会員数や口数によって決定します。「業界の代表」と言えます。

業種、業態、地域等を網羅し、総合的に商工会議所の組織運営上、欠かすことのできない議員として、会頭が常議員会（役員会）の同意を得て、会員の中から選出します。

■1号議員の選挙

・立候補届け出
9月30日～10月13日までが受付期間です。

・立候補者が定数と同数の場合
立候補者が定数の41名と同数の場合は、投票による選挙は行いません。

・立候補者が定数を超えた場合
立候補者が定数を超えた場合は、投票による選挙を行います。

その場合の投票予定日は10月25日です。

投票による選挙を行う場合は、改めてご案内します。

■選挙権について

会員 ※最高口数は50票
令和4年度年会費を9月22日までにご入金いただいた会員は、会費1口（5,000円）に対して1票の選挙権があり、さらに特定商工業者に該当する会員は、別に1票が加算されます。

特定商工業者

会員ではない特定商工業者は、

昨年度（令和3年度）の特定商工業者負担金を9月22日までにご入金いただいた場合、1票の選挙権がありますが、被選挙権はありません。

※いずれも過去3か年度分の会費、特定商工業者負担金の納入が条件です。（途中入会等の場合は、該当する年度分）

■選挙権の委任

選挙権は、他者（会員事業所）に委任、または委任を受けることができます。

・選挙権の委任を受けたとき・・・委任状が有効であることの確認を当所で受けてください。

・選挙権を委任するとき・・・委任状に必要事項を記載し、委任したい方にお渡しください。

また、2票以上の選挙権を有する会員は、その選挙権数の範囲内で分割して選挙権を委任できます。その際は、当所で分割委任状を発行します。

※委任状は8月上旬に郵送いたします。

議員改選の主な日程

8月

8月上旬
選挙権口数と「議員改選について（しおり）」、委任状を送付します。

8月下旬
2号議員を選出する部会のご案内を送付します。

9月

9月上旬
9月22日選挙人名簿の確定（有効選挙権会員数と総票数確定）

9月下旬
常議員会で3号議員、部会で2号議員を選出

9月30日
1号議員立候補届 受付開始

10月

10月13日
1号議員立候補届 受付締切

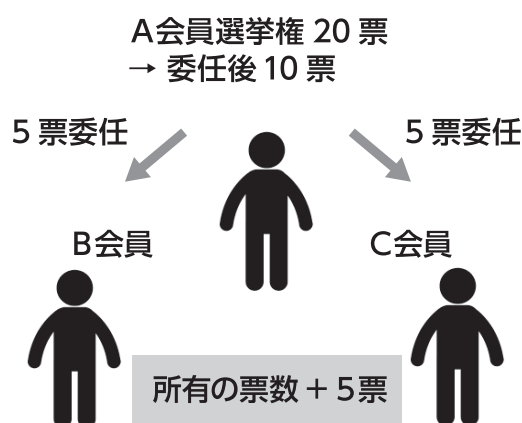
10月25日
1号議員選挙投票日
※投票による選挙の場合

10月31日
現議員の任期満了日

11月

11月1日
臨時議員総会で会頭、副会頭をはじめとする新役員が選任されます。

選挙権の分割委任(例)



選挙権を20票持っているA会員が、B会員に5票、C会員に5票委任したとします。この場合A会員は当所で分割委任状を受け取り、B会員とC会員に手渡します。結果、A会員の選挙権数は、10票になります。

委任を受けたB会員とC会員は、委任を受けた5票の選挙権が有効であるか当所で確認します。